

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



この本は成人向けです。
18歳以下の方の購入や閲覧は
神奈川県青少年保護育成条例第10条の4項に基づいて禁止されております。



花音

大丈夫？
体の調子はどう？

さっきの飲み会で
飲みすぎて
しまったのかしら……。



とりあえず
終電ももう
過ぎたから

朝まではちゃんと
休むほうが
いいと思うわ

ふ、
ふえええ
……。



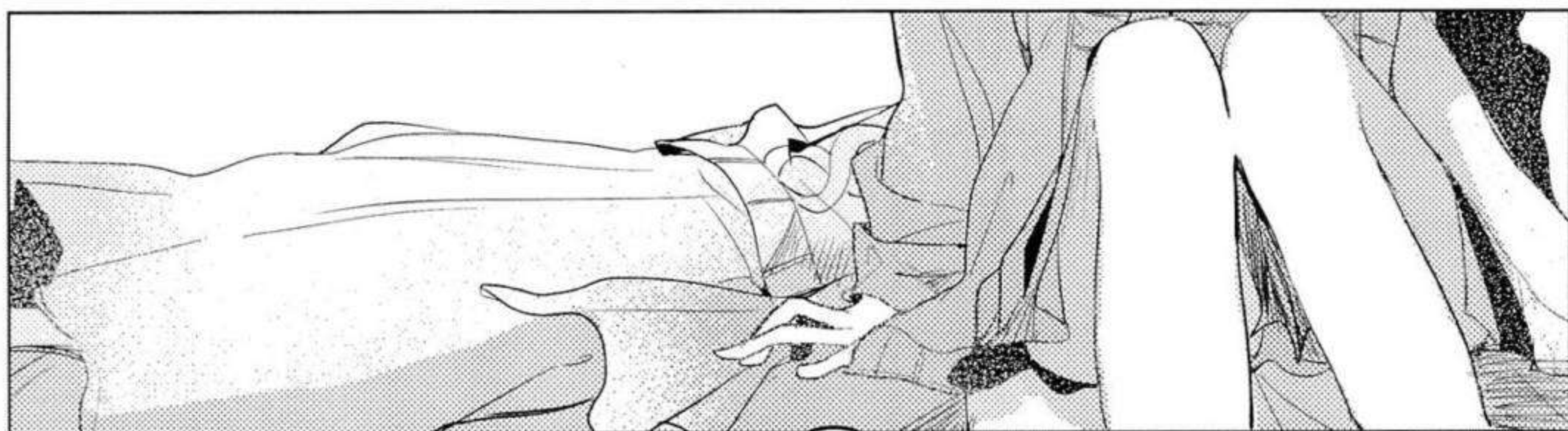
ここまで
連れて行くのが
結構大変だったけど…
そもそも
私より
背も高いからね…

完全に眠って
しまった
ようだね…

寝ている顔は
相変わらずだね。

眠かったのかしら？





高校生としての
最後の日。

学校を卒業した
あの日に

私は
花音に
告白をした

告白の場所は

私たちが
一番好きだった

校庭の裏

……ずっと
好きだったわ、
花音

あなたのことが

あなたは私の
お友達なのに

こっぴどい感情を
抱えてしまった私を

最低って
言ってもいいのよ

……けど私は

…ごめんなさい
花音…

ぜんぶ、
私のせいだわ

…私はね
どんなことが
あっても

千聖ちゃんを
そんなふう
に
思わないよ

千聖ちゃんが
そう言ってくれて

むしろ
すごく
嬉しいな…。

けど

相次いの
言葉は

やっぱり

……お断りするね、
千聖ちゃん

絶対
聞きたくなかった、

残酷で、
けれど優しい
お断りの言葉だった。

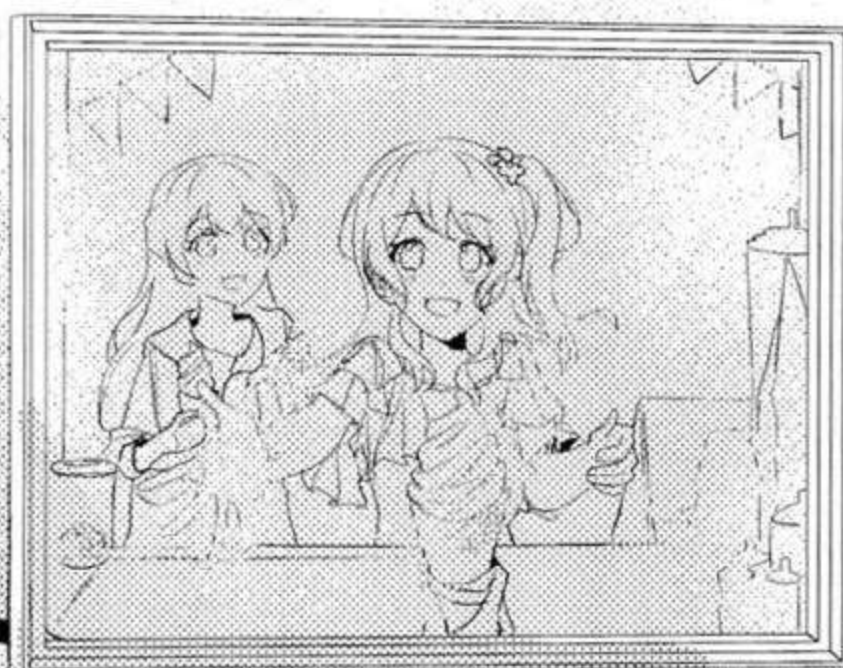
……もう
一年前の
お話だね

その後は
花音は
大学のこと

私も
パスパレのことで
忙しくなって

全然
会えなかったから

花音も
変わったんだろう、
って、思ったの。



……あなたは
相変わらず

私が愛してた
そのままなのに……。



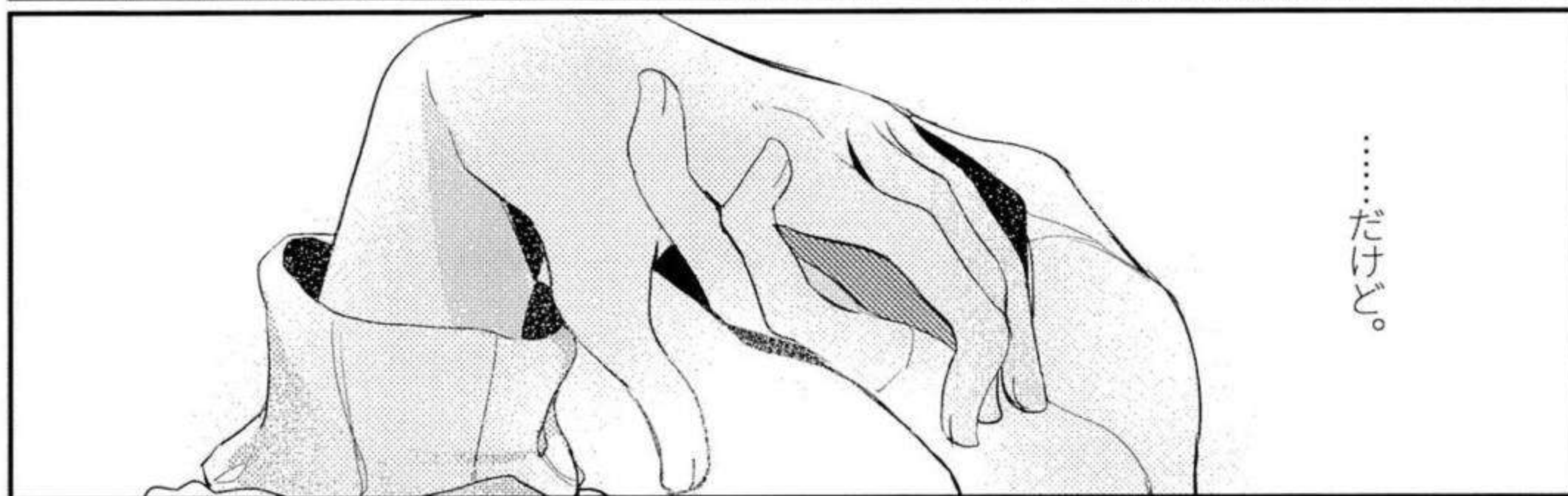


こんな私を
見て

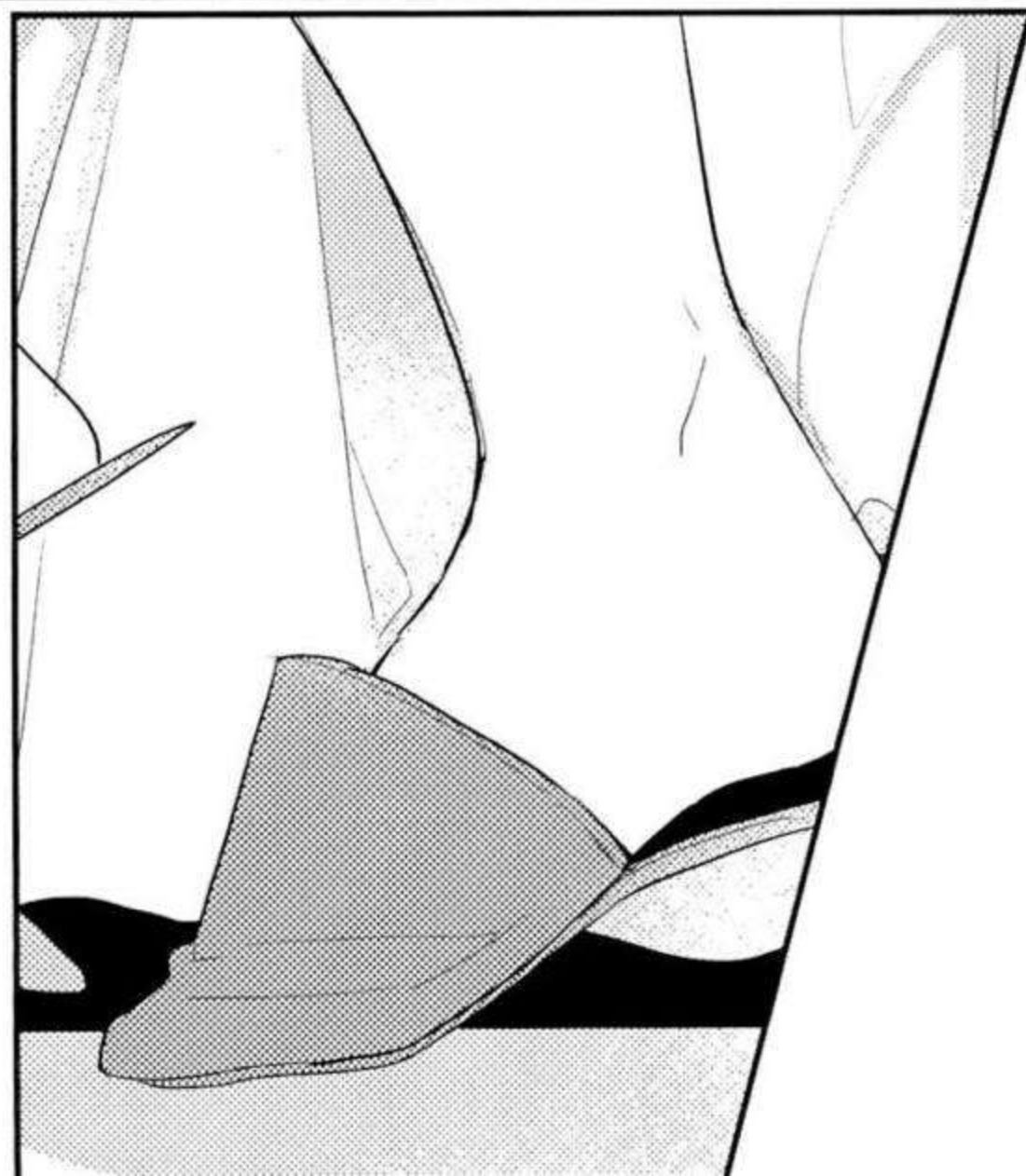
怒るかしらー



ねえ
あなたが
目を覚ますと

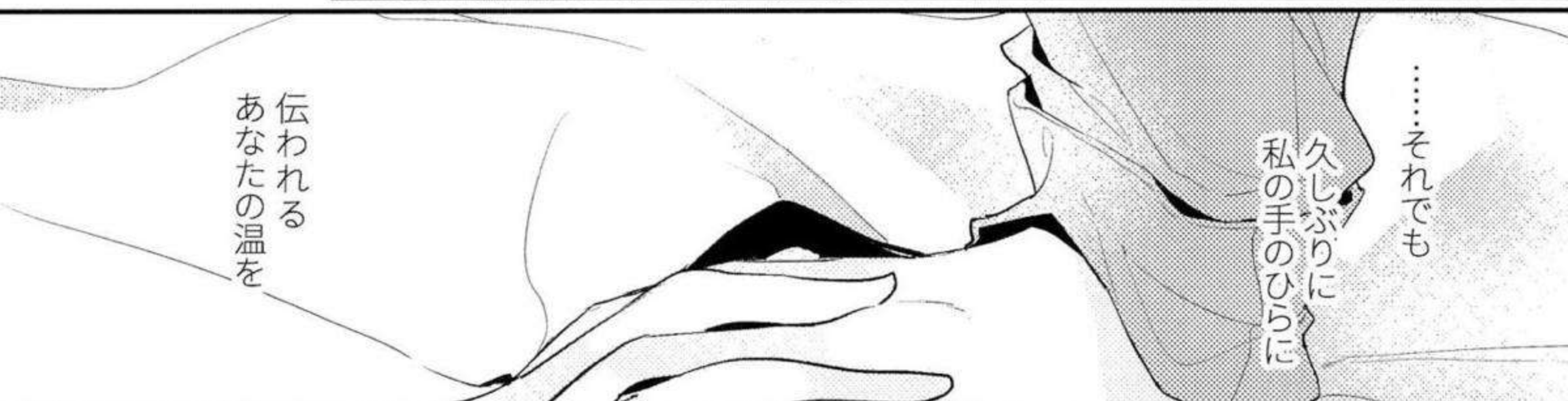


……
だけど。



未だに、
愛してるわ。

あなたのことを





……
花音……？



……今
なに……
してるの？

おやあ

千聖ちゃん、
もう
行かないでね…。

花音……？
いきなり

どうしたの…

ああ

今の花音は
本当に

酔っ払って
しまったのかしら

千聖ちゃんと
会いたかったよ…

ずっと、
千聖ちゃんと
また話したくて…。

もし
そうでなければ……



花音のこの言葉が
私のとは
違う意味だと



もう
わかってる
くせに



……うん
花音。

あなたのことが
本当に
恋しかったわ

ぎゃっ..

……大丈夫でしょう、
酔いのせいでしたら



……だから、
言葉だけ
じゃなくて、

口づけ……を、
してくれないの
かしら……？

明日になったら
花音も忘れてしまっ
はすだから







は..

はっ..

は..

千聖ちゃん、

ちよつと
ごめんね.....

か、花音？



ガッ

..はあ、
はあ.....

..花音.....







か、
かのん？



あたまが
ぐるぐるに
なってしまう
気がするわ……。



ちよ、
ちよっと
まって、

いま
なにしてるの……



今までまだ
感じたこと
なかった

眩暈するぐらいの
快感

はっ

ん



失礼するね……



はっ

は

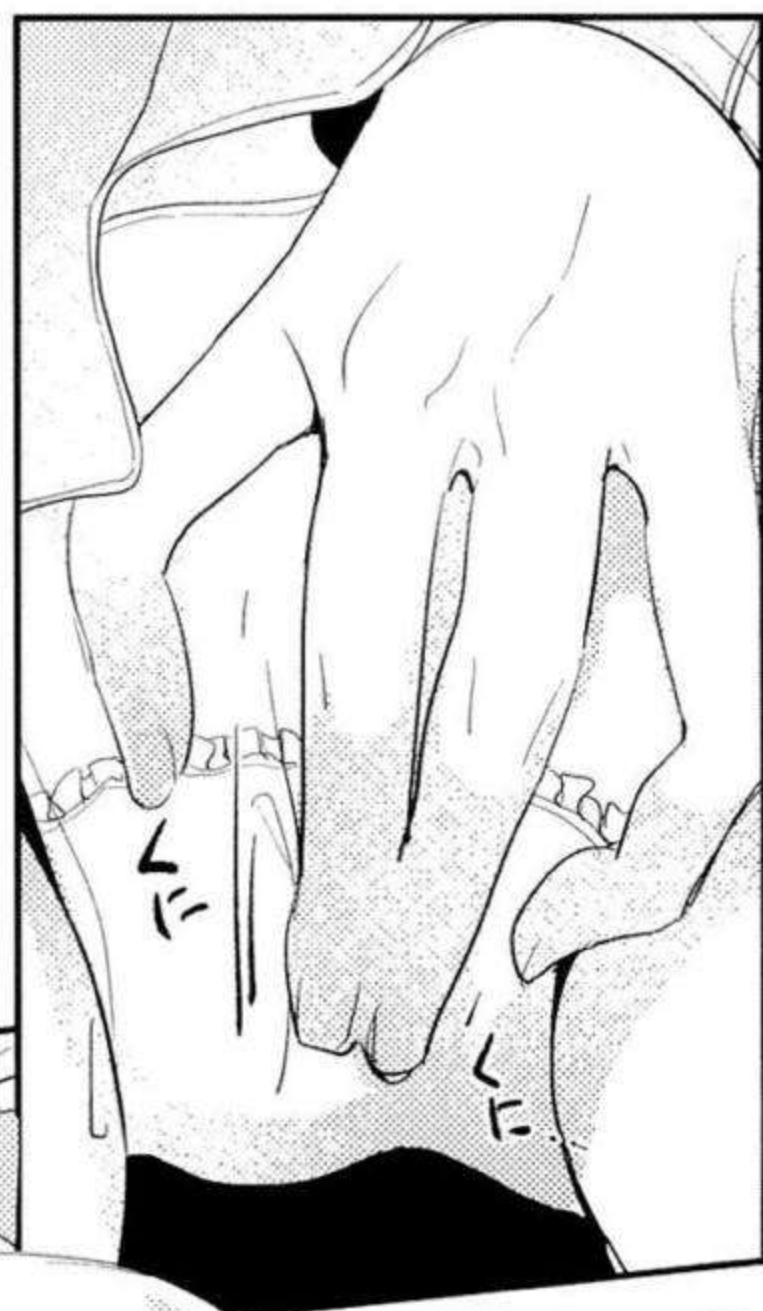




私ももう



こんなふうに
誘ったら



くっ

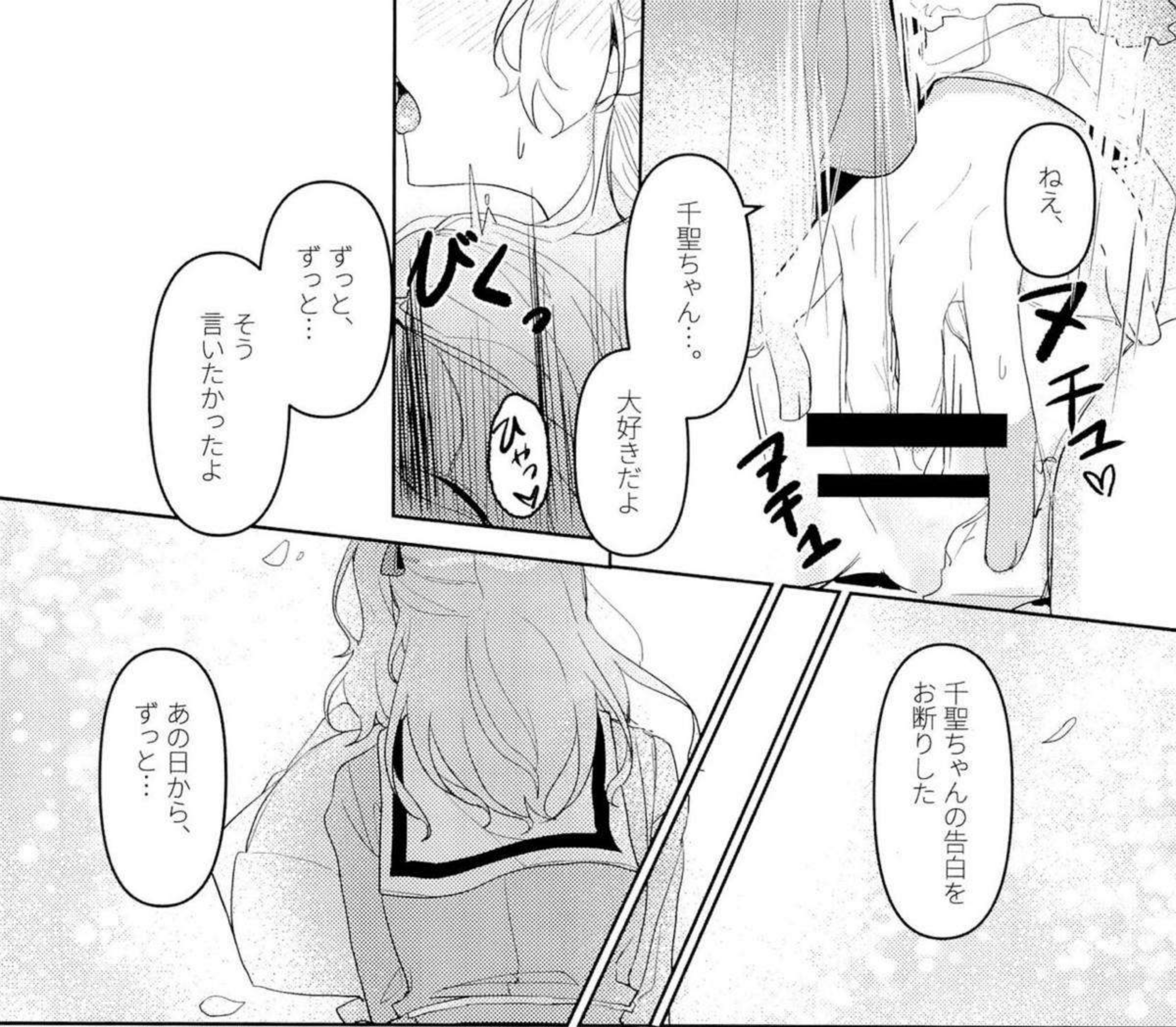
我慢できなく
なっちゃうよ…。

はあ

はあ

はあ

はあ





か、かのん…!

こ、こは
ああんっ…

かのん、

も、もう…、
げんかいだわ
…



はあ、はあ…

千聖ちゃん…。

そろそろかな…

イかせて
あげるよね
(あ)

ねえ、

ちさとちゃん…



大好きだよ
……

…ずっと、
聞きたかった
一言
(あ)

明日になると

きっと全部

なかったことにな
れるだろう

…花音…

なら
朝が来る前までは

愛してるわ…

この夢に
酔っていても

許されるのかしら…

…うん。

私も、
愛してるよ、

千聖ちゃん…

しまったわね…。

なんか
滅茶苦茶に
やってしまった
気がするわ…。

…別に
いいかしら

花音も
酔っ払ったまま
だったから

そのことを
もう覚えて
いないかも…

あの

か、
花音？

おはよう、
ね…。

千聖ちゃん…？

いつから
起きていたの
？！

え、
千聖ちゃんが
起きたときから、
かな…？

結構
前だったわね…。



もしかして
私は

初恋だったあなたの

夢を見ているかも
しれない

けれど…

千聖ちゃんが
よかったら

もう一度、

こっちに
おいでくれない、
かな…？

でも
こんなに
甘い夢なら

永遠に
覚めないように

ええ、
喜んで。

…花音。



初めまして、
またはこんにちは。

キュードリと申します。
今回はちょうどいい機会があって、
かのちさ初えっち本として参加することになりました。
かのちさと言えはやっぱ私にとっても
「純粹無垢なカプ」というイメージが強くて、
えっち本を出してもいいの!? ってちょっと心配してたんですが
案外と満足できる本になって、ものすごく嬉しいです。

翻訳については間違ってる部分が結構多いかも～と思いますが
自分なりに精一杯頑張ったので
間違えちゃった部分あっても勘弁してくださると幸いですう…。

わざわざ韓国から来てくれて私と一緒に
サークルとして参加してくださったあるばせんさんと、
翻訳とかイベント参加について
いろいろ教えてくれたお友達のまおめんのおかげで
無事に本を出すことができました。
みんなありがとう…。

それでは、お手に取っていただき誠にありがとうございました。
また機会があれば宜しくお願い致します！

発行誌:初恋センセーション
発行日:2019年11月4日
発行者:キュードリ
サークル名:木漏れ日
Twitter: @hanazono_suki
メールアドレス: x59595@gmail.com
印刷所: ねこのしっぽ

HAIR SUKKA
SENSATION